

各 位

会 社 名 株式会社ダイサン
代表者名 代表取締役社長 藤田 武敏
(コード：4750 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部 財務経理部
部長 河野 良亮
(TEL. 06-6243-6341)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2026年6月25日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析し、今後の取り組み方針をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

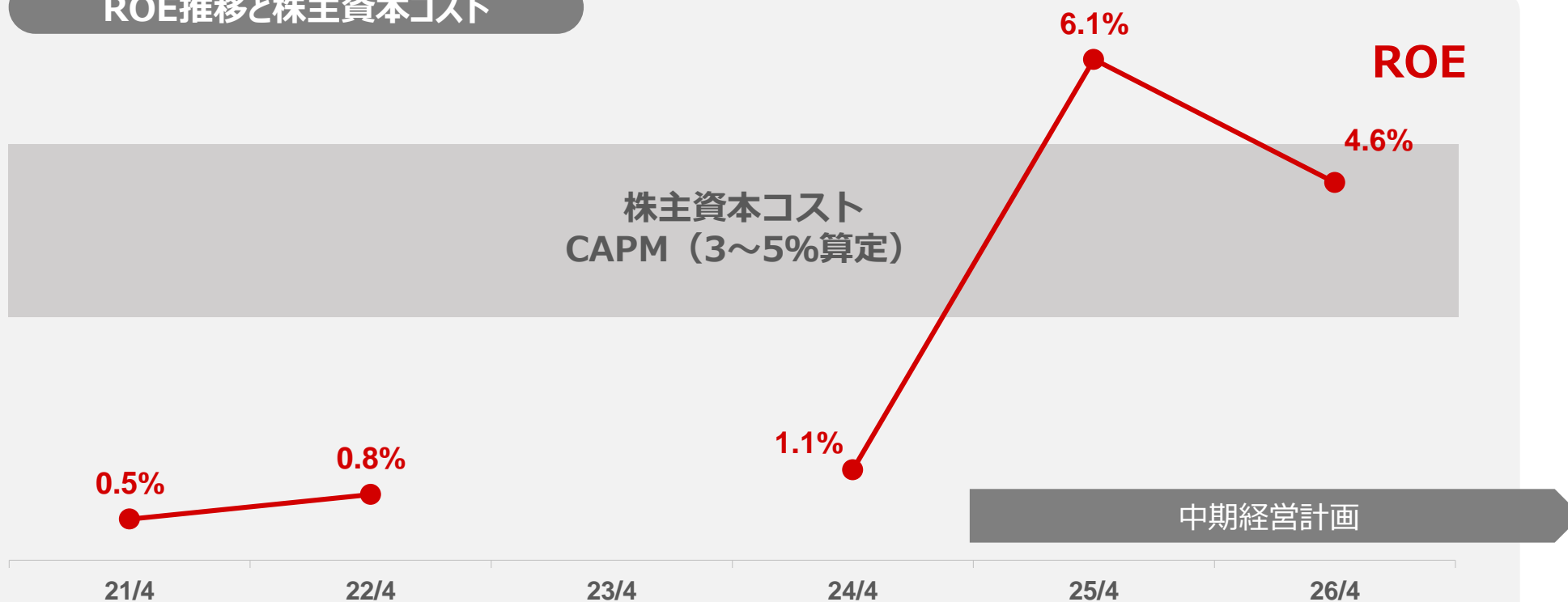
なお、詳細につきましては、添付資料の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」をご覧ください。

以 上

**資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について（アップデート）**

- ▶ 当社の株主資本コストは、約3~5%と認識しており、2024/4期までのROE水準は、株主資本コストを上回っていない状態で推移
- ▶ 2026/4期のROEは4.6%となり、株主資本コストと同水準
- ▶ 今後は資本コストを安定的に上回る水準を実現すべく、資本効率の改善に取り組み市場評価の向上を目指す

ROE推移と株主資本コスト

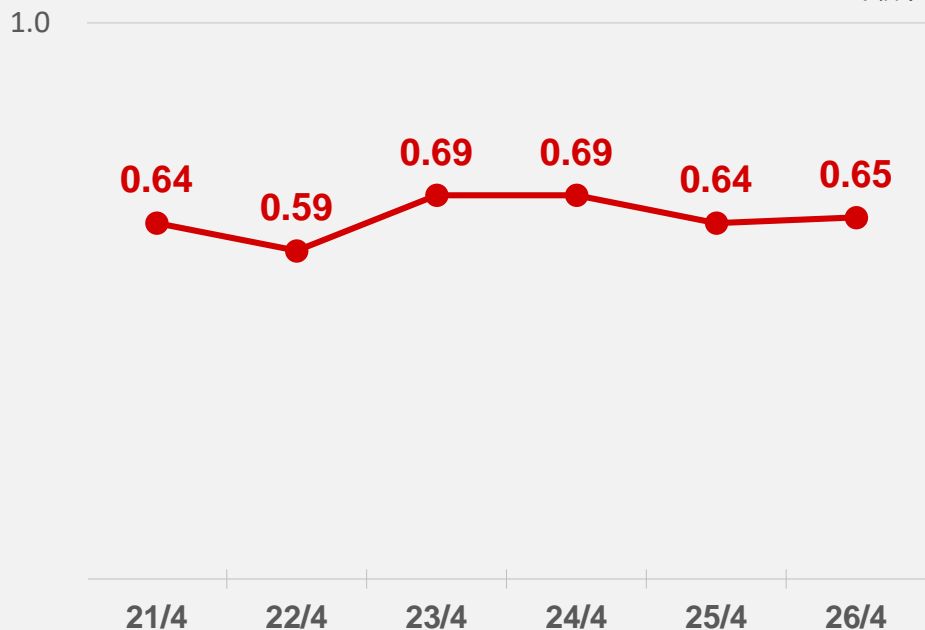


※ 1. 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを採用し、金利上昇を含む市場環境の変化を反映して資本コストを更新しました
 2. 2023/4期におけるROEは、当期純損失のため算出しておりません

PBR

PBR 1 倍を下回る状況が継続
 26/4期は純資産の増加によりBPSが上昇
 数年は利益水準が低く推移したこともあり、
 株価は割安で推移していると評価

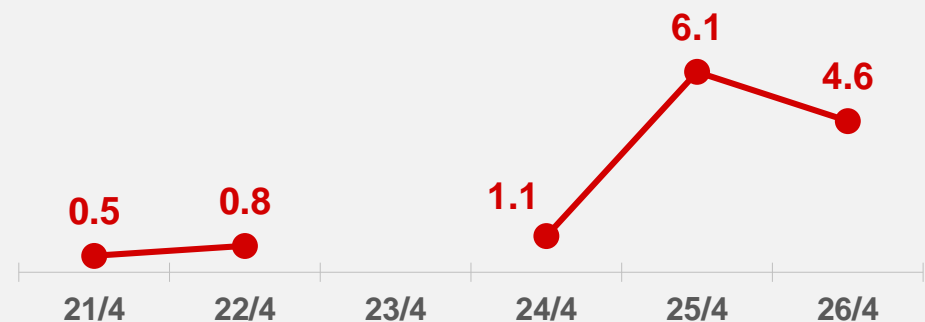
(倍)



ROE

(%)

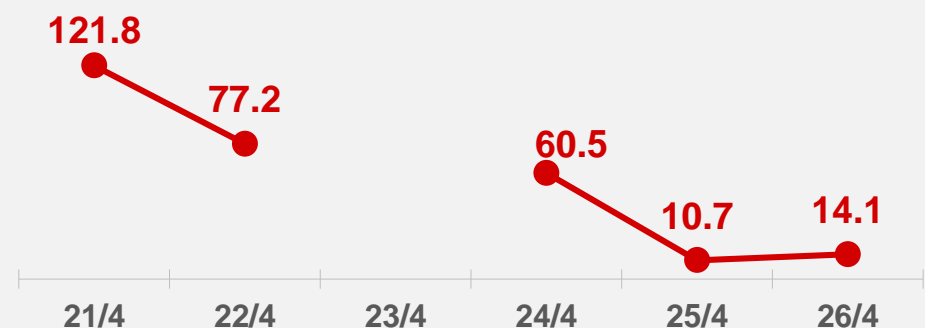
26/4期は利益減少により目標には未達
 資本市場から求められるROE水準を下回って推移



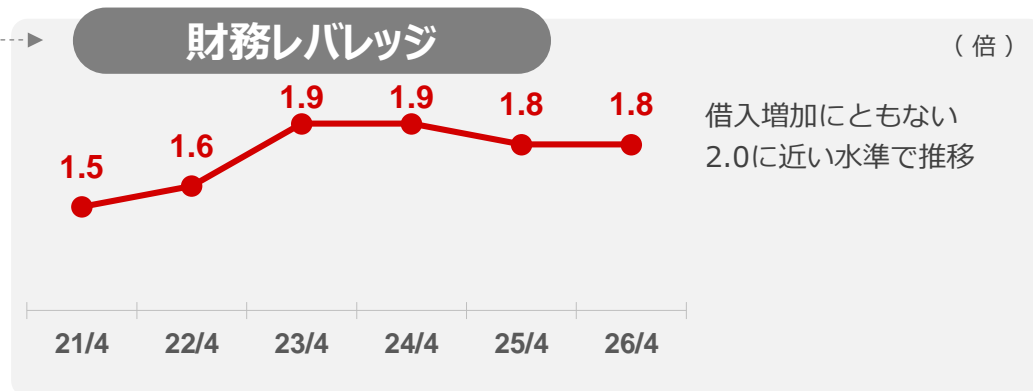
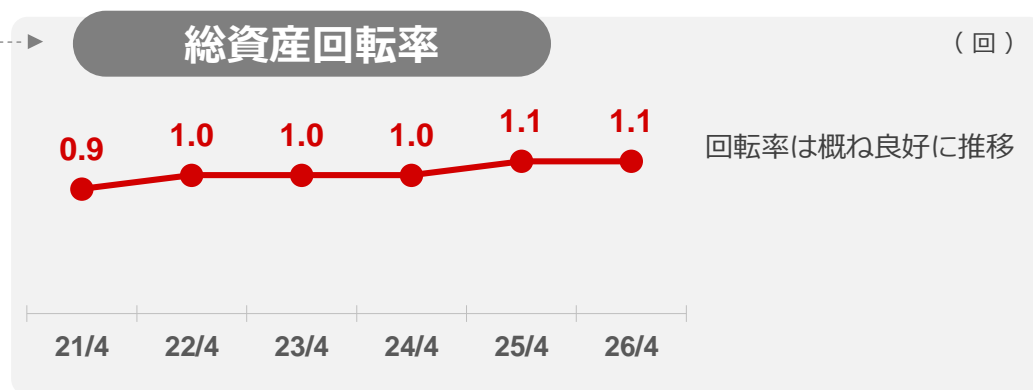
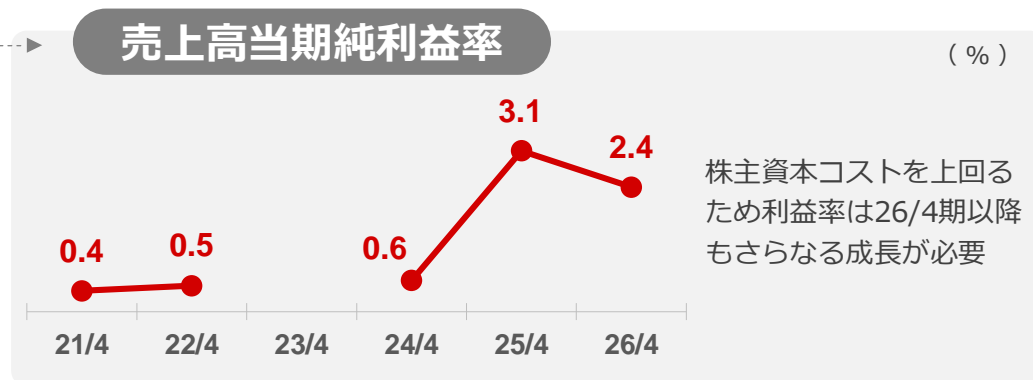
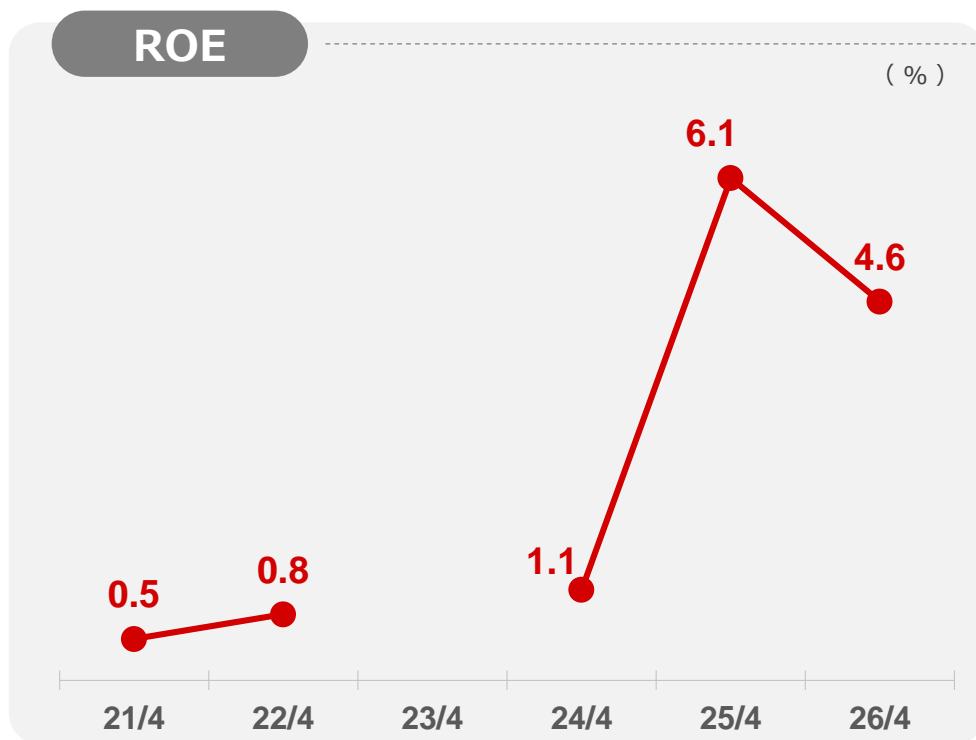
PER

(倍)

26/4期は利益が減少した一方、株価は微増でPER上昇



▶ 総資産回転率および財務レバレッジは安定的に推移しているものの、収益性が悪化していたことがROE低迷の要因と評価



※2023/4期におけるROE・売上高当期純利益は、当期純損失のため算出しておりません

PBR向上

ROE向上

目標**8%**

×

PER向上

目標**15倍**

- ▶ 中期経営計画の着実な実行
- ▶ 収益改善に向けた適正価格受注とサービスの拡充
- ▶ コア事業領域における投資部材の稼働率改善
- ▶ シンガポールを中心とした海外事業の成長
- ▶ デジタル技術活用による業務生産性の向上
- ▶ 新たな収益事業（デジタル、人財育成）の創造
- ▶ 安定的かつ継続的な株主還元
- ▶ 適時適切な情報開示と発信
- ▶ 株主投資家等との積極的な対話の推進